

木童 東京支店

東京都新宿区西新宿7-7-26 ワコーレ新宿第一ビル408
TEL:03-5937-5069 FAX:03-5937-5079
E-mail:tokyo@kodoh.co.jp

木童 神戸本社

兵庫県神戸市北区大沢町篠437
TEL:078-954-0072 FAX:078-954-0257
E-mail:muku@kodoh.co.jp

★復刻！信州赤松&奥州赤松

日本では古くから、ヤニ分が多く粘り強い松を建築用材として使用してきました。“松”と言えば構造材のイメージが強いかもしれませんが、実は床材としても、裸足で歩く日本人にとっては絶妙な足ざわりがたまらない、大変優れた材なのです。

以前は、木童の床材の中でも南波から松・相生杉と並び人気商品だった節有の赤松。数年前より安定供給が難しくなり、信州の赤松・岩手の赤松はカタログのラインナップから姿を消していました。現行の木童カタログでは島根県産の石見あかまつがレギュラー品となり、6寸の中広の上小無地材は存在感を放っています。しかし日々赤松をPRする中で、「節有材もあれば良いのに」、「VEで使える選択肢が欲しい」というお声もいただくようになり、各産地と相談を重ねてきました。そして…その声にお応えできる体制が整いました。

★★★★★ ついに！赤松節有材が満を持して復活します！！ ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



＜基本寸法＞
1820×105×15mm
1820×120×15mm
1820×150×15mm

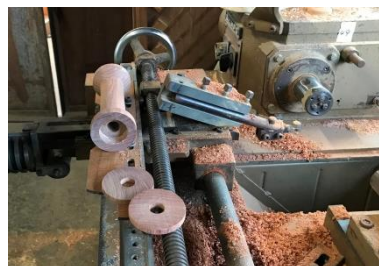
※上小/無節/FJ無節（寸法による）
※塗装品対応可。
※エンドマッチ加工付き

※1つの産地では難しいことも、複数の工場での対応とすることで、よりこまやかな提案のできる体制になりました。サンプルも必要に応じてご用意致します。

★上野の国の老舗木工所

木童でお付き合いさせて頂いている工場といえば、製材工場や床壁材の加工工場が多いのですが、中にはもっと細かな作業を行う木工所のような協力工場もたくさんあります。今回はそんな仲間のうちのひとつ、群馬県は伊香保温泉にほど近い木工所へと行ってきました。

ここでは年代物に近いような加工機が今もなお現役で働き続け、それを扱える数少ない腕の良い昔気質の職人さんが集まる木工所。そのため、他では出来ないような難しい加工や手間のかかる一点物の工芸品などに対して、頼もしいまでの力を発揮してくれます。木童ではカタログのパネル材から、スポットの塗装、家具、細かな木工品などなど、大きな仕事から小さな仕事まで様々お願いしています。



↓ ドアハンドルなどの小物から3層パネルなどの建築用材まで、製作アイテムも多種多様。

↑ → 色々な加工機、刃物の種類も多種多様。木取りから加工、仕上げ、塗装までを一貫して行えます。

★施工例① K邸 兵庫県芦屋市/設計:岩本賀伴建築設計事務所

くりの羽目板で特注した玄関ドアが目を引くK邸。ドアの厚みは60mmもあってしっかり断熱材も入れてあり、性能面でも大変考慮された作りになっていました。クリア塗装で仕上げたのですが、雨染みなども気になる箇所なので、保険代わりに木童の超・撥水を上から塗ってもらえるようにおすすめしました。

玄関上部とサイドのガラスから覗く木質感に、内装への期待も高まります。一般的な住宅よりも1階の階高が高く(2600mm)、特に玄関の吹き抜け部分はものすごい迫力で思わず見上げてしまいます。そして見上げた先に貼られているのが特注の杉の化粧合板。見せ場である玄関上部には特に目のそろったきれいなものが集められていました。

内部は一見すると木の部分が多いのですが、無垢ばかりでなくパネルや突板も上手に取り入れられています。予算の都合とのことですが、化粧合板などを多用しながらも、自然で、木の家らしさを損なわない仕上がりとなっていました。



書斎コーナーのデスクは遊び心がいっぱい。デスクー本棚へ早変わり！

★施工例② K邸 東京都小金井市/設計:BUILTLLOGIC

メインとなるLDKの床に館くるみをたくさん使っていたいただいた住宅のオープンハウスに行ってきました。近所に公園があり、緑に囲まれた閑静な住宅地の一角。都心ではなかなかお目にかかれない平屋づくりの家は、小さいけれどパッと目をひく佇まい。中に入ると全室明るくて、縦の動線がないのがとても生活しやすい印象です。

設計の石黒先生には、くるみの持つ落ち着いた色味と柔らかな風合いを気に入ってもらい、何度もリピートしていただいています。この家も和モダンでスッキリとした内装に、くるみの雰囲気とぴったり似合って、良さが引き出されているなあ嬉しくなりました。

くるみ材の特長の一つは“ほどほど”の堅さです。見学会の当日は、勉強にきた他の設計事務所の方や、工務店さんの大工仲間さんなどで大盛況。あまり堅木だとじっと立っているのも疲れてくるものですが、くるみの床の上ではそんな素振りもなく、皆さん自然と長居しながら居心地の良い住まいを楽しんでおられました。



★ワークショップのサポートをしてきました！/東京都国立市

テラバヤシセッケイジムショさん主催のワークショップ、その名も「おてつ台」。「自分の事は自分でしたい」そう思った時にさせてあげたい。背伸びをしても届かない小さな子どもがお手伝いできるような踏み台=おてつ台を作るワークショップイベントです。今回は材料に木童の徳島県産相生杉(220、厚さ30mm)を選んでいただきました。私も宣伝も兼ねてワークショップをお手伝いしてきました。

参加者は7組。みなさん2、3歳のお子さんがあるご家族の方でお父さん、お母さんがわが子の為にと奮闘。予め決まったサイズにカットしてあるので、組み立てるだけで簡単かと思いきや、意外と手間がかかり2時間あっという間。最後に自宅塗装して完成なので、参加された方にサービスで桐油をお渡しさせていただきました。とても和やかな雰囲気、みなさん相生杉のおてつ台を作って満足そうな表情。すてきなワークショップでした。



写真:テラバヤシセッケイジムショ

KODOH NEWS

■6/9(土)・7/14(土)は東京支店で無料住宅相談会を行います。※予約制となりますのでメールかFAXにてお申込み下さい。
■予告からだいぶ遅くなりましたが塗料専用カタログが出来上がりました。「桐油」「和色」「超・撥水」「柿渋」をまとめてご紹介。順次スタッフが所持する予定ですが、ご希望の方には優先してお届けいたします。
※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。